

水稲の病害虫防除と熱中症対策 〈大川地区〉

大川地区版 令和8年7月
東讃農業改良普及センター
東讃農業改良普及協議会

【必須防除1】いもち病、紋枯病。カメムシ類、ウンカ類を対象に**必須防除1**を徹底しましょう。

【出穂期までに実施する必須防除（いずれか使用）】					
必須防除	防除時期		対象病害虫	使用薬剤	10 a 当たり希釈 倍数・散布量
	いずれか 混用	出穂15～20日前 (収穫45日前まで/1回)	いもち病、紋枯病、稲こうじ病、 ウンカ類、カメムシ類	ゴウケツモンスター粒剤	3kg
		出穂10日前 (収穫35日前まで/1回)	いもち病、紋枯病、 ウンカ類、カメムシ類	ワイドパンチ豆つぶ	250g
		出穂直前～穂揃期(穂揃 期まで/2回以内)	いもち病、紋枯病	ダブルカットフロアブル	1000倍/100ℓ
		出穂直前～穂揃期(収穫 7日前まで/3回以内)	カメムシ類、ウンカ 類、ツマグロヨコバイ	スタークル顆粒水溶剤	2000倍/100ℓ

【必須防除2】カメムシ類を対象に**必須防除2**を徹底しましょう。特に「**イネカメムシ**」が大川地区で多く発生しており、出穂期に籾の基部を吸汁されると、不稔籾となり**減収する恐れ**があります。



イネカメムシ



ミナミアオカメムシ

必須防除	防除時期		使用薬剤	10a 当たり希釈 倍数・散布量	使用時期
	いずれか	出穂 7～10日後	スタークル粒剤	3kg	収穫 7 日前まで 3 回以内
			スタークル豆つぶ	250g	
		出穂10～14日後	スタークル顆粒水溶剤	2000倍・ 100ℓ	収穫14日前まで 3回以内
			トレボンEW	1000倍・ 100ℓ	

【農作業中の熱中症を予防しましょう！】

全国では毎年、30名を超える方（R6は59人）が農作業中の熱中症により死亡しています。

- その1 暑さを避ける
高温時の作業は極力避け、日陰や風通しの良い場所で作業
- その2 こまめな休憩と水分補給
喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給
- その3 単独作業は避ける
複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う
- その4 熱中症対策アイテムの活用
帽子や吸湿速乾性の衣類の着用、空調服や送風機の活用